

第3回 嘉麻市行政経営推進審議会 会議録

1. 審議会等の名称 令和2年度 第3回嘉麻市行政経営推進審議会
2. 開催日時 令和2年10月30日（金）14:00～16:03
3. 開催場所 嘉麻市役所本庁舎4階 防災対策室
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）

6. 出席者

（1）委員

美谷薫委員、吉岡滋樹委員、澤村健治郎委員、吉安勝行委員、三船國弘委員、大森成順委員、上野美智子委員、永富靖人委員、野見山桂子委員、松田クニ子委員

*欠席委員 西森章雄委員、大里理子委員

（2）執行機関

企画財政課長 大村輝生、企画財政課長補佐 田中ひふみ、財政係長 野見山泰秀、行政改革推進係 和多美幸

7. 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人

8. 議題及び審議の内容

【議題】

- （1）前回審議会の振り返りについて
- （2）外部評価の実施について
- （3）第3次行政改革平成31年度実施状況について（審議）
- （4）その他

【審議の内容】

（1）前回審議会の振り返りについて

前回審議会における委員からの質問事項について、資料に沿って説明を行った。（事務局）
説明を受け、次のような質問及び意見が出た。（委員）

・かまししちゃんについては、事業を市と（株）嘉麻スタイルでどちらが効率的に事業を行えるかが目的なのか、どれとも収益性を上げることが目的なのか。

→本計画を立てた時点では、収益性なども考えて譲渡する計画を立てたということだが、情勢も変化しているというところもあり、譲渡することが一番良い方法かという疑問が担当課で生じている。

・市が、どういう目的でこのかまししちゃんの項目を掲げて実行していくのかが不明である。

→答申に記載する。

・（株）嘉麻スタイルの事業内容が知りたい。

→（株）嘉麻スタイルの発足当初は、道の駅うすい、観光協会、嘉麻スタイルの3者で観光振興を進めていくということで、嘉麻スタイルについてはその実行部隊という位置づけ

で設立された。現在、市の観光施策等の受託業務を行っている。また、今年度から新たに人材派遣業にも着手している。

・かまししちゃんは、土日のイベントなどにも多く出動しているが、どのくらいの費用がかかっているのか。

→委託する以前は、職員が対応しており、時間外勤務手当が多く発生していた。

・かまししちゃんができた経緯は、地域おこしやまちおこしが目的だったと思うので、積極的に活用し、地域おこしを行って経済効果を上げてほしい。

・かまししちゃんのかまぼこを販売していたが、かなりの売上になるのか。

→売上としては、かなり売り上げているが、コストもかかっているので、収益性は上がっていない。PR効果は、かなりあると考えている。

・転入者等住まい応援交付金の活用について、市内転居と市外転入の割合はどうなっているのか。

→前回審議会の資料に記載しているが、ほとんどが市外転入である。

(2) 外部評価の実施について

外部評価の実施について、資料に沿って説明を行った。(事務局)

説明を受け、審議を行い、次のような質問及び意見が出た。(委員)

・「評価が正しく行われているか」という評価は、難しい。

○人事管理費

・評価表に複数の事業が記載されており、事業名が妥当ではないのではないか。

・サテライトオフィスの事業では、企業とのやり取りなどもあるようだが、産業振興課と連携しているのか。

→サテライトオフィスでの事業は、人事秘書課、地域活性推進課、企画財政課、産業振興課でチームを組んで取り組んでいる。

・現在の目標の進捗はどうか。

→土地の売却については、ある程度進んでいる。

○普通財産管理事業

・平成31年度と令和2年度を比較して、予算が増えている理由は何か。

→災害等により変動する。

・近年、空家や災害危険区域をどうするかなどの問題で、私有地を公有地にするという人が増えているようだが、何か方策はないのか。

→今のところ、有効な方策というものは特段ない。今後も検討していく。

・個人が所有している土地を、行政に引き取ってほしいなどの要望はあるのか。

→そんなに多くはないが、数件問い合わせはあるようである。基本的な市の方針として、これ以上土地や物件を保有していかないという考えを持っている。

・山田や嘉穂地域では空家が増えてきている。空家バンクなどを行っている課などがあるのか。

→担当課は産業振興課である。

・空家の業務を行っている課は、産業振興課だけか。

→老朽している空家を取り壊したり、危険な空家を調査したりは、防災対策課で行っている。

・税制改正等により相続税の課税も以前より厳しくなっている関係で、相続放棄をするケースなどが増えてきており、相続人を探すのが大変だという話も出てきている。嘉麻市も早急に取り組まないと、その部分に自然とコストがかかるようになるし、固定資産税の滞納など負の連鎖につながる可能性がある。

○市バス運行管理事業

・スクールバスを市バスに有効利用できないのか。

→住民の利用については、検討している段階である。

・市バスを運行するにあたり、乗車している人の属性等を把握し、現状に即した運行形態を考えるべきである。

・利便性を高めるためには、近隣市町との連携が必要である。

・鴨生駅や桂川駅に向けてバスを走らせるのが、効率的ではないか。

○集会所管理費（山田）

・集会所は、市が所有しているのか。

→集会所の種類によって、管理しているところが異なる。

・市としては地元に移管したいのか。

→公民館基本計画があるが、公民館に準じて地元に移管したいと考えている。

・評価表の中で、成果目標と結果は合致してるが、移管する必要はあるのか。

→評価表の記載の仕方に問題がある。現状では適切に管理を行うが、将来的には地元に移管したいという考えがあり、それが今後の課題となっている。

・「市が主体的に実施する理由」について、事業の目的がどうかによっては矛盾が生じるのではないか。

→答申に記載する。

○観光振興加速化事業

・事業名と事業内容が合っていないので検討すべきである。

・嘉麻市に住んでいると、市の良い部分に気づいていない。市民が、市の良い部分を探すことも必要だと思う。そして、市民が市外の人にもっと市のPRや移住を促進することも大切だと考える。

・(株)嘉麻スタイルに増資し、経営安定化を図っているということだが、「コストが低減できるか」という欄で委託料を下げるができる」と記載されている。矛盾しているのではないか。

→増資をした理由については、経営の安定化ではなく、人材派遣業務を行うためにある一定の資産が必要だということで、その目的で増資を行っている。評価表の記載に誤りがあるため、答申に記載する。

・空家について、現在相談や交付金の受付などが異なる課で行われているが、窓口を一本

化すべきである。

○教育研究所事業

・今年度はコロナで休校になっているが、事業内容についてはどうなっているのか。

→この事業については、平成31年度に実施した事業と変化はない。コロナにより休校期間が長かったため、場合によっては、不登校児童等が増えている可能性があり、他の事業でそういった生徒をフォローしていくというような事業を行っている。

・こういう事業は、高度な技術やノウハウが必要だが、市の事業は市のみで完結するものなのか。他の市町などと連携することにより、より広く高次な対応ができるようになるのではないか。

○全体に対する質問・意見

・従事者コストの人数欄は、どういうふうに考えたらよいのか。

→所管課がいくつも事業を行っているが、この事業に何人で取り組んでいるのか、つまり、この事業に人のコストがどのくらいかかっているのかを示すもの。業務量で、人数に換算している。

(3) 第3次行政改革平成31年度実施状況について

第3次行政改革平成31年度実施状況について、配布した資料等を確認し、次回審議会までに意見等をまとめておくこととした。

(4) その他

特になし。

9. 配布資料

- ・令和2年度第3回嘉麻市行政経営推進審議会次第
- ・転入者等住まい応援交付金について（資料1）
- ・税等の収納状況について（資料2）
- ・外部評価の実施方法について（資料6-1）※第2回審議会にて配布
- ・令和2年度二次評価結果（資料6-2）※第2回審議会にて配布
- ・事務事業評価表（二次評価前）（資料6-3）※第2回審議会にて配布
- ・事務事業評価表（二次評価後）（資料6-4）※第2回審議会にて配布